

## ◆自然科学研究科 数学専攻 博士後期課程 カリキュラムマップ

## 教育研究上の目的

数学専攻は、博士前期課程で修得した幅広い数学分野の専門知識に基づいて、自ら数学の問題を見つけ、論理的思考や計算を通して新しい数理現象を見出し、数学の発展に貢献する人材を養成する。

## ディプロマ・ポリシー

(知識・技能)

- 1 数学分野の発展的な知識と研究手法を身につけ、独自の研究成果をあげることができる。
- 2 数学分野の自立した研究者として研究に従事しうる知識と能力を有している。
- 3 研究者もしくは高度専門職業人として自立して活動するために必要とされる、数学分野の卓越した知識と技能を修得した上で、自らの数学的思考力をもって、それらを総合的に活用することができる。

(思考・判断・表現)

- 4 情報の収集と発信に十分な英語能力を有し、研究成果を国内外に発信することができる。
- 5 論理的な思考プロセスを英文を含めて正確に文章として表現することができる。

(関心・意欲・態度)

- 6 数学の問題を自ら発見し、その解決に向けて取り組むことができる。

分野系列	科目名	単位	知識・技能			思考・判断・表現		関心・意欲・態度
			1	2	3	4	5	6
【必修科目】	博士論文	0	◎	○	○	○	◎	◎
	数学研究	16	◎	○	○	◎	○	◎
【自専攻設置科目】	代数学特論Ⅳ	2	○	○	◎		◎	◎
	幾何学特論Ⅳ	2	○	○	◎		◎	◎
	解析学特論Ⅳ	2	○	○	◎		◎	◎
	数理科学特論Ⅳ	2	○	○	◎		◎	◎
	代数学特論Ⅱ	2	○	◎	○		◎	◎
	代数学特論Ⅲ	2	○	○	◎		◎	◎
	幾何学特論Ⅱ	2	○	◎	○		◎	◎
	幾何学特論Ⅲ	2	○	○	◎		◎	◎
	解析学特論Ⅱ	2	○	◎	○		◎	◎
	解析学特論Ⅲ	2	○	○	◎		◎	◎
	確率論及統計学特論Ⅰ	2	○	◎	○		◎	◎
	確率論及統計学特論Ⅱ	2	○	○	◎		◎	◎
	数理科学特論Ⅱ	2	○	◎	○		◎	◎
	数理科学特論Ⅲ	2	○	○	◎		◎	◎
	数学特別講義Ⅰ	2	○	◎	○		◎	◎
	数学特別講義Ⅱ	2	○	○	◎		◎	◎